

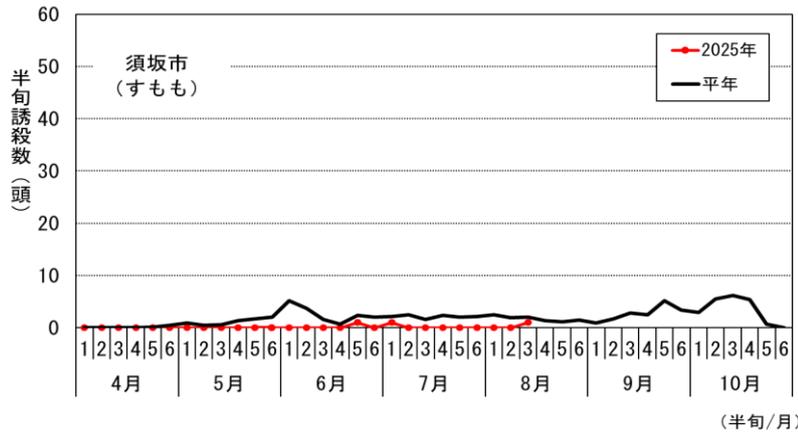
チャバネアオカメムシのフェロモントラップ誘殺消長（令和7年（2025年）調査）

病害虫防除部

【発生生態と防除のポイント】

- ・年1～2回発生する。
- ・落葉下で越冬し、成虫は山林から果樹園に飛来する。
- ・果樹園へ飛来する時期に殺虫剤を散布する。
- ・次々に新たな個体が飛来するので、発生が多い場合は5～7日間隔で、2～3回散布する必要がある。

○須坂市（病害虫防除部）



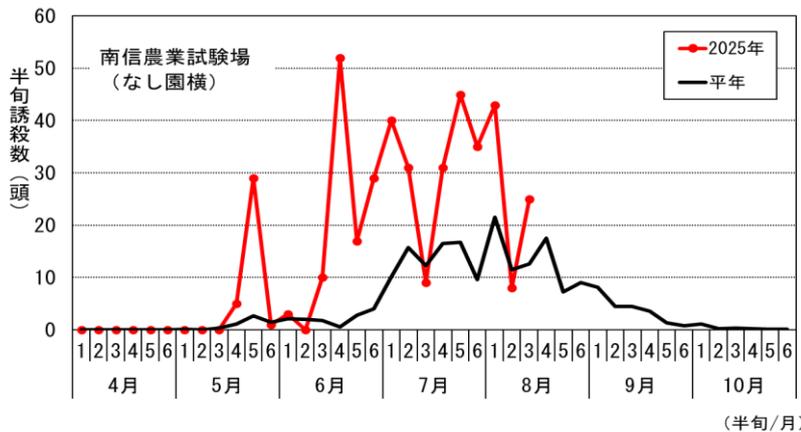
【調査地点】（標高370m すももほ場）

- ・ 平均は2015年～2024年の平均値。

【コメント】

- ・ 8月第3半旬時点で今年度の総誘殺数は3頭と、誘殺数は少ない。

○県予察ほ（高森町 南信農業試験場）



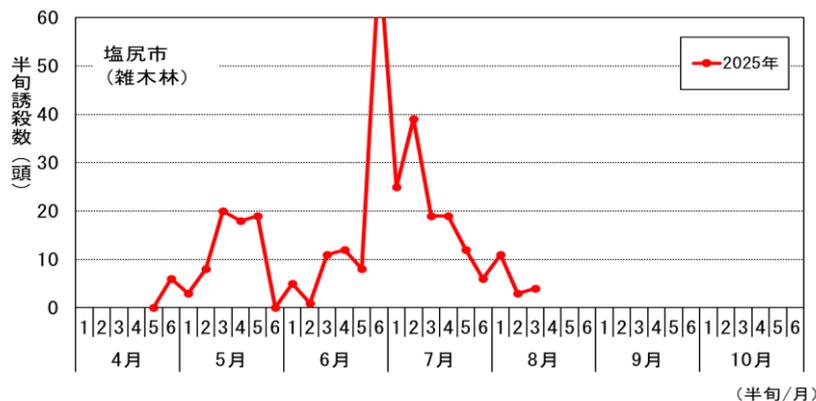
【調査地点】（標高560m 場内）

- ・ 平均は2015年～2024年の平均値。

【コメント】

- ・ 6月第3半旬の今年度のピーク以降は、7月第3半旬と8月第2半旬に平均を下回った以外、平均を上回る誘殺数が記録されている。

○塩尻市（病害虫防除部）



【調査地点】（標高560m 雑木林）

- ・ 今年度から観察を開始したため、平均値、前年値なし。
- ・ 設置場所は越冬地となる雑木林

【コメント】

- ・ 雑木林での誘殺ピークは5月中旬と6月末に観察された。
- ・ 7月に入り、誘殺数はおおよそ右肩下がり、8月第2、3半旬はそれぞれ5頭未満である。